



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.41
2016.3.10発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第41号 発行日:2016年3月10日 発行者:原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://nagano-child.jp/> kodomo@pref-nagano-hosp.jp



Contents

鼠径ヘルニアの日帰り手術	1
「この人に聞く」	2
患者支援・地域連携室 研修会、講演会の報告	3
PICU増床コラム	4
病院祭ポスター表彰式	4
学会賞を受賞しました	4
栄養科通信	5
松本筑摩高等学校夜間部生徒会様 からご寄付をいただきました	5
東南アジアに行く	6
長野県立こども病院寄附プログラム	7
編集後記	7



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

撮影:大畑淳

鼠径ヘルニアの日帰り手術

～当院では昨年2月から鼠径(そけい)ヘルニアに対する日帰り手術を行っています～

鼠径ヘルニア手術はこれまで1泊2日(または2泊3日)で行っていましたが、気管支喘息や心疾患、低出生体重などの既往のない患者様には「日帰り手術」という方法で手術を受けていただく事ができるようになりました。

日帰り手術とは

来院当日に手術を行い、病院に泊まることなくその日にお家へ帰る手術方法です。入院をしなくて手術を行うことにより、お子様の精神的ストレスを軽減し、日常生活に早く戻ることができます。これまでに24名の方が鼠径ヘルニアの日帰り手術を受けられました。

鼠径ヘルニアとは

腸や卵巣(女の子の場合)などがお腹の中から脱出して鼠径部(下腹部から足の付け根辺りの部位)が盛り上がる病気です。こども全体の20人から100人に1人の発生率と言われていて、生後1歳までの間に全体の2/3が発症するとされています。鼠径ヘルニアは、手術が必要な小児外科の病気の中で最も多く、小児外科手術の約20～40%を占めています。

日帰り手術の対象となる方

年齢は生後6ヵ月以上で、こども病院まで1時間半以内に来院できる距離にお住まいの方が対象になります。



来院時診察 (8:53)

手術前後のスケジュールと注意事項

手術当日は朝8:30までに来院して頂き、9:15に手術室に入ります。入室後は麻酔がかかってお子様が眠るまでご家族に同伴していただいています。手術時間は15～20分間で、手術が終了したら回復室で様子を観察し、点滴を抜いてから病棟へ移ります。水分を摂取できることを確認し、午後2時～3時頃に退



手術室入室 (9:14)



退院時 (14:38)

院になります。

手術中は局所麻酔薬を用いて痛み止めを行います。退院時にはお家で使用する痛み止め（座薬）を処方いたします。帰宅後は普段と同じ食事が可能ですが、手術当日で食欲がない場合は軽めの食事にしていただいています。入浴や学校、保育園、幼稚園への登校（園）は手術翌日から可能です。日常生活の制限はありませんが、サッカーなどの激しい運動については手術後1週間は控えていただいでい

ます。手術翌週に外来で傷の確認をし、問題がなければその後の外来受診は不要になります。手術では吸収糸を使って傷を閉じますので、手術後の診察で抜糸は行いません。

おしらせ

本年3月から日帰り手術を行う日が毎週2日（祝日を除く月曜日と水曜日）になります。鼠径ヘルニアでお困りの方は当院小児外科外来までお気軽にご相談ください。

第2回 「この人に聞く」 形成外科 野口 昌彦 先生



今回登場していただくのは、外来で待たせてしまっても苦情が聞かれないと評判の形成外科 野口昌彦先生です。のっけから意外なお話をうかがいましたので、どんな展開になるかご期待ください。

～「空手バカー代」にあこがれて～

（編）学生時代は空手部だったそうですが？

（野）こどもの頃「空手バカー代」という漫画に感動してね。これは素晴らしい、自分もやってみたい、大学に行ったら始めようと思っていたので空手部に入りました。入ってみたらこれがきつかった。人生の中で体力的に一番きつかった。死ぬかと思ったホントに。実は高校時代体重が80何キロ以上あったんです。それが空手部に入って夏までの間に一気に60キロを割りました。それくらい凄い練習。1週間の夏合宿で病院送りになった人達が2～3人。怪我をしたとかではなく熱中症みたい倒れて消えていくんだよね、みんな。

ところが去年小説が出たんですよ、「空手バカー代」はすべてフィクションだったという。「俺の信じたことは何だったんだ！」って思った、ショックです。

～人気の秘密は？～

（編）私たちが入手した情報によるとお母さん方に大人気だと聞きますが・・・

（野）いや～、悪い時もあるけどね。全然万能じゃないから。ただ、お母さんがこの病院に来たことを納得して帰ろうとしているのか、そうじゃないのかは話をしていれば分かる。それがいい方向に出てきているのかな、とは思いますが。

～こうして形成外科医になりました～

（編）形成外科を選ばれた理由は何ですか？

（野）「鶏口となるも牛後となるなかれ」信州大学の形成外科は小さな科だけれども、学生時代にポリクリで回ったときの雰囲気良かったのと、世界的な業績をいろいろ持つ

ていたところに憧れて入局しました。

入局直後の10月に名古屋の中京病院に研修に出してもらいました。中京病院の形成外科は全国で初めて熱傷センターをつくったところで、当時は形成外科医が熱傷の全身管理をしつつ手術もこなしていました。熱傷センターは常に重症患者が入院していて、熱傷だけで週に一人は亡くなるという状況でした。ずっとそこに寝泊まりして患者さんについているうちに部長が病気で亡くなり、形成外科医だった病院長も最終的に病気になって亡くなるという大変な時期でしたが、結局3年間研修しました。その後信大に戻ってようやく今みたいな形成外科医を始めました。

～こども病院に行ったら頑張れそうなんです～

（編）こども病院に勤務されたのはどんな理由ですか？

（野）形成外科の専門医を取得したのがちょうどこども病院の出来る頃で、当時の医局員の中に「こども病院に行きたい」と手を挙げる人が一人もいなかった。同期や先輩が大勢いる中で下っ端の自分がみんなの前でやりたいという訳にもいかないので、当時の松尾教授の近くに行っては「こども病院に行ったら頑張れると思うんですよ～」とささやきながらアピールしました。そうやってこども病院のポストを手に入れたというのが真相です。

～最初は必死でした～

（編）こども病院に来られてどうでしたか？

（野）いざ来てみると、自分が一番若くて、まわりには名だたる先生達がひしめいているのでね。新生児科や循環器グループと比べて恥ずかしくない業績や治療成績を示せるようにレベルアップを図ろうと、最初の頃は必死でした。

～察することが大切です～

（編）先生の信条、いつも心に持っているものは何ですか？

（野）日本人が医療者としてやっていく上で一番大事なのは「察する」ことかなと考えています。わかりやすく言えば気が利くってことだけど、医療者は気が利かないと出来ない職業だなと思います。逆に言うと気が利かない人はあんまり好きじゃない。例えば人が何か集中しているのに横

でずけずけしゃべっていると、そういうのは全然ダメだよね。

～追いつき追い越せ～

(編) テニスをされているそうですが？

(野) うん。凄く頑張ってます。何とか時間を作るようにして、夜9時から始めることもあります。何故テニスをやっているのかというと、上手いかないのがよくわかるから。テニス仲間には医療者以外の人が出て、そういう人達がいかに自分より上にいるのかよく分かるし、それがすごく大事だと思っている。仕事では医者立場なので全て上から下の方向に指示を出すんだけど、テニスになると自分より上手い人がむちゃくちゃいるので、そういう人達にいかにして追いつき追い越せっていう感覚、その感覚の方が多分好きなんだろうと思う。

～技術は得やすい、されど本物になるには時間がかかる～

(編) 今、若い人達に伝えたいことは何ですか？

(野) 若い人達に何を望むかっていうのは自分の口からは難しいところなんだけど、「技術は得やすいけれど、それが本当に自分のものになって使えるまでには物凄く時間がかかる」ということですかね。もう一つは、ちょっと専門化され過ぎてきているのと圧倒的に経験症例数が減っているので、そこをどう埋めていくのかなっていうのはあるかな。

(編) お忙しい中、お時間いただきましてありがとうございました。

インタビュー：赤羽純恵

記録：岩淵恭子

写真：平林富子

患者支援・地域連携室 研修会、講演会の報告

患者支援・地域連携室では、年間さまざまな研修会や講演会を企画しました。今年度開催されました研修会と講演会の報告です。

●小児在宅医療研修会

全5回開催(写真1,2)

内容:訪問看護制度、福祉制度、家族のとらえ方、小児の成長発達

参加人数:のべ120名



●長野こども しろくまネットワーク学習会

(平成27年11月22日)

内容:地域包括ケアとICT(インフォメーション コミュニケーション テクノロジー)、ケース発表

参加人数:30名

●訪問看護ステーションとの合同懇話会

(平成27年11月から)

中信圏域の方との懇話会及び学習会

参加人数:のべ25名

●在宅医療をすすめる多職種研修会(平成28年1月16日)

安曇野医師会主催の小児在宅、成人在宅のコラボ企画

内容:総合小児科樋口医師と安曇野市医師会高橋会長の講演及びグループワーク

参加人数:60名

●看護職のための小児在宅研修会(平成28年2月22日)

全県看護職対象の研修会

参加人数:95名

その他にも、ボランティア交流会(2月)、交流研修会、ダウン症のグループ外来などたくさんの研修会や講演会を企画・開催しました。研修会、講演会を通じ専門研修のニーズの高さ、地域との連携の必要性をひしひしと感じました。これから地域との結びつきをさらに強めるためにも、こども病院の専門性を発揮できるようさまざまな研修会と講演会を開催していきますので、多くのご参加並びにご支援をよろしく願います。

PICU増床コラム 第3回

小児集中治療科 部長 松井彦郎

年が明けてから増床途中のPICU運営と増床後のPICUの体制について議論を開始し始めました。2017年の冬～春にかけては、新しいところに移って現在のPICUを改修するので、運用ベッドが減少します。新しいところをPICU1、4階病棟の一部をPICU2として、数ヶ月の間は2か所のPICUで重症患者を診療することになりました。この間は2階の家族ラウンジが使用できなくなり、医療関係者だけでなく、患者さんやご家族を含めた、皆さんでの協力が必須となります。よろしくお願いします。

ところで2月初めに信州大学病院のドクターヘリと協力した新しい小児重症搬送の試みを始めました。長野県全体で重症な子供達を救うことができると奮闘しています。



病院祭ポスター表彰式



1月4日、昨年の病院祭ポスターコンテストの表彰式を行い、みごと最優秀賞を獲得された高沼稀李さん（9歳）に病院祭実行委員長から副賞の賞品が手渡されました。稀李さんの作品は各所に掲示されただけでなくパンフレットの表紙にもなったので、どこかで目にされた方も大勢いらっしゃると思います。病院祭の顔として大活躍の素敵なデザインのポスターでした。

病院祭では毎年ポスターを募集しています。次のポスターはあなたの作品かもしれません。多数のご応募をお待ちしております。

学会賞を受賞しました

第21回日本輸血・細胞治療学会学術奨励賞が血液腫瘍科の柳沢龍先生に贈られることになりました。歴史ある大きな学会からこのような賞をいただくことは当院にとっても名誉なことです。せっかくの機会ですので、柳沢先生には受賞対象である研究内容のわかりやすい解説（小学校6年生が理解できる！）をお願いしました。

～小児輸血医療における輸血副反応頻度の検討～

血液腫瘍科 柳沢龍

輸血をすると発熱やじんましんなどのアレルギー反応がときどき起きます（これを“副反応”と呼びます）。副反応は大人だけでなく小児でもしばしば問題となりますが、こうした副反応がいったいどんな原因で起きるのか、どんな患者さんで起こりやすいのかといった点についてはまだ完全にはわかっていません。そこで、私たちは長野県立こども病院で行われた過去11年間の全ての輸血を調査し、輸血する“血液”に紛れ込んだ白血球や白血球が作る物質



（サイトカインといいます）が副反応の原因になっていることを見つけました。さらに輸血を受ける患者さんが年長児であったり、白血病などの“血液のがん”の患者さんであったり、何回も輸血を繰り返しているような場合に特に副反応が起きやすいこともわかりました。今回の研究成果が活かされて、多くの患者さんがこれまで以上に安全な診療を受けられるようになることを願っています。

栄養科通信 第6回

もうすぐ桜の季節ですね。年末年始には病院で過ごす患者様達に少しでも季節を感じてもらえればと、こんなメニューを作りました。



大晦日の天ぷら付き年越しそば



お正月のお猿さんかまぼこを添えたお雑煮



うどんに黒豆

また、鏡開きや節分の日には、ちょっとしたメッセージを添えています。

これからだんだんと暖くなってきます。春に向けて、また新しい、季節を感じられるメニューを作っていきたいと思います。



松本筑摩高等学校夜間部生徒会様からご寄付をいただきました

昨年12月25日に生徒会長及び顧問の先生が来院され、ご寄付をいただきました。当初から学校祭の出店売上全額を当院に寄付しようと生徒同士の話し合いで決めて取り組まれたそうです。今後も地域に貢献できる取り組みを続けたいとのことで、その熱意に頭が下がります。本当にありがとうございました。



連載
最終回

気軽なベトナム麺

もうすぐ長野県へ来て1年になります。人生で経験したことのない寒さに何とか耐え（それでも今年は暖かいそうですが）、普段から雄大な雪山が見える贅沢を楽しんでいます。

さて、最近ベトナムへ行った方から「お薦めを教えてください」と言われたので、今回は気軽に食べられるベトナム麺をご紹介しますと思います。日本でも有名な米麺のフォーphoはもともと朝ごはんに食べることが多かったようですが、お昼に食べる人も多く、私もよくランチで食べていました。ちょうど職場の向かいにチェーン店であるpho24というお店があってよく利用していました。ベトナム人スタッフに言わせると「あれはフォーのマクド○ルドだ。本当に美味しいフォーはあんなものではない！！」と力説されたのを覚えています。それではとホーチミンのパスター研究所のすぐ近くにある有名なお店へ行くと、確かにそこはスープが美味しかったのですが、私は正直なところpho24でも満足かなと思いました。味がわからなくてすみません。代表的なフォーの具材は鶏・牛で、牛は半生か加熱したものかを選べる人が多いです。私は牛肉があまり得意ではないので鶏派でした。肉好きでお腹が丈夫であれば半生がいいかもしれません。フォーには通常モヤシ、ニラのような葉野菜、レモングラス、ライムや薄くスライスされた唐辛子がどっさりついてくるので、これをお好みで一緒に食べます。私はもやし+レモングラスたくさん+ライム・唐辛子少量+胡椒が気に入っていました。ちなみに緑色の唐辛子は油断していると赤いものより数倍辛いのでお気をつけください。またフォーほどの知名度はあ



◀鶏肉のフォー：食べる時はもっとモヤシとレモングラスを入れます。

りませんがフォーティウhu tieuという麺もあり、個人的にはこちらの方が好きでした。仏教徒であるお手伝いさんは月に1-2回菜食の日があり、その日に彼女が買ってくるものは“だし”が効いていて、本当に美味しく何回もリクエストしたものです。フォーティウの方がフォーより硬めです。また、スープにつけたりお鍋に入れたり野菜やライスペーパーで巻いて食べるブンbunを使ったブン・チャーも、昨年ベトナムに行った際に忘れず食べてきました。私は炭火で焼いた豚肉とほのかに酸っぱいスープで食べるブン・チャー・ハノイが大好きです。ブンを使った蟹のスープ、ブン・リウもお薦めです。フォーティウはちゃんとしたレストランではほとんどメニューにないので、“Hu Tieu Mi”と書いてある麺屋さんへ行ってみてください。お昼時にベトナム人で賑わっているお店ならきっと味は間違いありません！もし食べ損ねたらタンソンニャット空港のレストランでもメニューにありますよ。

今回で『東南アジアに行く』は最終回の予定です。1年間お付き合いいただき、どうもありがとうございました。少しでもベトナムを身近に感じていただけたら嬉しいです。



▲ブン・チャー：スープと炭火で焼いた肉、野菜の組み合わせが絶妙です。



▲職場近くに夕方になると現れるブン屋さん。天秤棒が必要なものを運んできます。おばちゃんの周囲にお風呂の椅子のような小さい椅子を出してその場で食べるのが普通です。

長野県立こども病院寄附プログラム

平成27年7月から開始した長野県立こども病院寄附プログラム第1期の実績がまとまりました。皆さまからいただいたご寄附は、小児・周産期高度専門医療を担う人材育成のための教育プログラムの開発や患者様の療養環境の整備のために活用させていただきます。

なお、平成28年1月からの第2期寄附プログラムでは、第1期の取組に加え、人材育成のための教育プログラム

第1期(平成27年)実績

件数 74 件 金額 105,744,529 円 (平成26年 件数9件 金額 12,850,008 円)

の実施や、「こども病院サポータークラブ」の創設など、県内小児医療の更なる質の向上に取組んでまいります。

引き続き皆さまからのあたたかいご支援をお願いいたします。

※長野県立こども病院への本寄附金は、税制の優遇措置の対象となっております。

詳しくは、当院ホームページをご覧ください

……本寄附金に関するお問合せ先……

担当：地方独立行政法人長野県病院機構

長野県立こども病院事務部 次長 三枝哲一郎、臼井節子

TEL 0263-73-6700 FAX 0263-73-5432



ちるくま

ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。(希望されない方を除く)

北信ガス(株)、(一社)小県医師会、赤岡史子、海沼茂、(株)岩船陸送、(一社)安曇野市医師会、清水産婦人科医院、(株)大福食品工業、第4チャリティーミーティング参加者、協和テクノ(株)、(一社)飯水医師会、池田町チャリティークリスマスプロジェクト、長野県松本筑摩高等学校・夜間部生徒会、(株)システムアプリケーション 他2名(順不同)

一品物

株丹、大底、JAあづみ、細田、布山、Azumino光のページェント実行委員会、ユニオン映画、有賀、akshu、サンタ・プロジェクト・まつもと、田中、小林

平成27年12月受付分(敬称略)

ご寄附いただきました皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

早いものでもう3月、桜の季節になろうとしています。そして送別の時期でもあります。なごり惜しい人、それほどでもない(?)人、色々あろうかと思いますが、去り際のうしろ姿は記憶に残るものです。「立つ鳥跡を濁さず」いい言葉ですね。渡り鳥が飛び立った後、静寂が戻った水面に一片の羽根が漂う・・・美しい光景が目には浮かびます。「あとは野となれ山となれ」これは少々いけませんね。まあ、自分もやってみたいという誘惑にかられないでもないですが。野となり山となる、これは見方を変えれば残った人にとって悪いことばかりではありません。おみくじで大凶を引くようなもので、これより下がることはない、あとは上がるだけと考えれば意外な発展につながる可能性があります。とはいえ、野や山にすることをお勧めしているわけではありません、念のため。

小木曾

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成 28年 3月 1日現在

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	渡邊 佳洋 (AM)	藤岡 文夫 (AM) 高橋 淳 (PM) (第2・第4)	松原 光宏 加藤 博之 ^{※1}	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
小児外科		畑田 智子 (AM) 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	岩出 珠幾 (AM)
眼科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練 (AM)
総合小児科	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) (ワクチン接種)	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司 (AM)
総合小児科 アレルギー外来	小池 由美 (PM)		小池 由美 (AM)		
総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	竹内 浩一 (AM)
血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元 (AM)		
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫 柳沢 龍	坂下 一夫 (AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	柳沢 龍
循環器科 (内科・外科)	岡村 達 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)	原田 順和 (AM) 岡村 達 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 (内科)	田澤 星一 武井 黄太 (内科)
循環器科 成人移行期外来		元木 博彦 (AM) (第2・第4)			
リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)
精神科 こころの診療科					篠山 大明 ^{※2}
脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり (AM)	
神経小児科	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 (PM) 中嶋 英子 (AM)	平林 伸一	中嶋 英子 ^{※3} 佐々木 拓 (PM)	平林 伸一 福山 哲広
小児外科					高見澤 滋 (胃瘻・中心静脈栄養外来)
新生児科	小田新 (AM) (第1) 亀井良哉 (AM) (第2・4) 中村 友彦 (PM)	廣間 武彦	関 聡子	廣間 武彦	山口 由美
形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 (AM) 一之瀬優子 (AM)	安永 能周 (AM) (第4)	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子 (AM)	野口 昌彦 (PM)	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒
総合小児科			中山 佳子 (AM) (第1) (消化器) 水城 弓絵 (AM) (第2) (内分泌系)		
麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
皮膚科				芦田 敦子 (AM)	
遺伝科	古庄 知己 (AM11時~)	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 泉 幸佑 (PM) (第2・4) 高野 亨子 (PM) (第3)	西 恵理子 (AM) (PM2時~)
耳鼻咽喉科	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	森 健太郎 (AM)
循環器小児科 胎児心臓外来		武井 黄太	松井 彦郎	田澤 星一	瀧間 浄宏
産科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
リハビリテーション科	五味 優子 (AM) 笛木 昇	関 千夏 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳 (AM)	笛木 昇 (PM)

※1 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。

※2 精神科(こころの診療科)篠山医師は第1~4週の診察となります。
外来の初診は、受付しておりません。

※3 神経小児科の木曜日午後の診察については、佐々木医師が奇数日、
中嶋医師が偶数日となります。

★診察時間：午前9時~午後4時

★休日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話

0263-73-5300